

令和元年度

虐待・貧困・孤立に、 顔の見える連携で寄り添う

子どもの育ちを支える、子ども・子育て全国フォーラム

日時

2019年

9月11日 水 10:50-16:00

全国社会福祉協議会 [灘尾ホール]
東京都千代田区霞が関3-2-2新霞が関ビルLB階

講義

11:00～12:00

「児童福祉施設・社会福祉協議会等の
相互連携による制度の狭間の
福祉ニーズへの対応」

講師：大竹 智 氏 (立正大学 教授)

実践 報告

13:00～16:00

「虐待・貧困・孤立に、
顔の見える連携で寄り添う」

コーディネーター：

園田 巖 氏 (東京都市大学 准教授)

報告者：

- ・井上 登生 氏
(井上小児科医院)
- ・篠崎 直人 氏
(幼保連携型認定こども園
平和の園)
- ・田中 智裕 氏
(甘木山乳児院)
- ・古市 こずえ 氏
(東海村社会福祉協議会)

お問い合わせ

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 児童福祉部

TEL:03-3581-6503

開催要項を
チェック

令和元年度

子どもの育ちを支える、子ども・子育て全国フォーラム 虐待・貧困・孤立に、顔の見える連携で寄り添う

1 趣 旨

近年、児童虐待、子育て家庭の孤立や子どもの貧困等の問題は深刻さを増しています。子どもへの支援とともに、家庭の子育て機能の回復・維持に焦点をあてた支援がますます重要となっており、家庭に身近な地域において、児童福祉施設等が関係機関や行政と連携し、包括的な支援体制をつくることが求められています。いまだ十分な支援の届かない、あるいは制度の狭間にあって支援が受けられない子どもや家庭に対しては、制度や専門分野の壁を越えた、切れ目のない支援が必要とされています。

虐待・貧困・孤立といった問題は、痛ましい事件になってからクローズアップされがちですが、児童福祉施設等が連携して要保護児童・家庭に寄り添い、地域での生活を支えているケースも多くあります。

本フォーラムでは、全国社会福祉協議会が平成 29・30 年度に実施した「児童福祉施設の相互連携による地域を基盤とした要保護児童等への支援方策に関する調査研究事業」の成果を踏まえながら、児童福祉施設や民生委員・児童委員、社会福祉協議会、行政等のさまざまな組織・団体の課題解決に向けた取り組み事例を共有します。

そのうえで、各組織・団体等の活動理念や専門性を発揮しながら、地域において相互に連携し、ネットワークづくりを進め、子どもや子育て家庭をどのように支援していくのか、自らの地域で実施するための方策について考察します。

2 主 催 … 社会福祉法人全国社会福祉協議会

3 後 援 … 全国民生委員児童委員連合会
全国保育協議会／全国保育士会／全国児童養護施設協議会
全国乳児福祉協議会／全国母子生活支援施設協議会

4 参加費 … 7,000 円

5 定 員 … 250 名

6 期 日 … 令和元年 9 月 11 日(水)

7 会 場 … 全国社会福祉協議会 灘尾ホール
(〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB 階)

8 対象者 … 児童福祉施設の役職員（保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、児童家庭支援センター、児童館等）
児童相談所・行政関係者、社会福祉協議会の役職員、民生委員・児童委員教育関係者、地域の子育てに携わる NPO 団体、子ども・子育てに関心のある方

9 プログラム

日 程	内 容
10:20 ～	受付
10:50 ～ 11:00	開会あいさつ・オリエンテーション
11:00 ～ 12:00 (60 分)	【講義】 児童福祉施設・社会福祉協議会等の相互連携による制度の狭間の福祉ニーズへの対応 児童虐待や子育て家庭の孤立、子どもの貧困等、子ども・子育て家庭をとりまく複合的な生活課題・福祉課題などの状況や、制度動向について学びます。 また、児童福祉施設等が相互連携やネットワークづくりを進め、制度の狭間の福祉ニーズへ対応していくことの意義や必要性、課題・方法を学びます。 【講師】 大竹 智 氏（立正大学 教授）
12:00 ～ 13:00	昼食休憩（60 分）
13:00 ～ 15:50 (155 分) (途中休憩 15 分)	【実践報告】 虐待・貧困・孤立に、顔の見える連携で寄り添う 児童虐待や子育て家庭の孤立、子どもの貧困等の背景がある要保護児童に対し、相互連携やネットワークづくりを行うことで切れ目のない支援につなげている、児童家庭支援センターや保育所、乳児院等からの実践報告を行います。 【コーディネーター】 園田 巖 氏（東京都市大学 准教授） 【報告】 井上 登生 氏（大分県中津市・医療法人井上小児科医院 理事長） 関係諸機関の視点等の共有化に基づく日頃からの連携による、身近な地域における周産期からの支援（児童家庭支援センターの事例） 篠崎 直人 氏（大阪府・幼保連携型認定こども園 平和の園 園長） 保育所・認定こども園と児童養護施設の連携による見守り～社会福祉法人・社会福祉協議会のネットワークによる重層的な支援 田中 智裕 氏（福岡県・甘木山乳児院 施設長） 虐待リスクのある子育て家庭に対し、市や児童相談所と連携し、ショートステイや一時保護委託を活用し、虐待を予防するための支援 古市 こずえ 氏（茨城県・東海村社会福祉協議会 生活支援ネットワーク係長） 社会資源とのつながりが無い生活に困窮した母子家庭に対し、保育所、児童養護施設、民生委員・児童委員、行政等多数の機関が連携して支援 【意見交換】 地域において日頃から顔の見える連携による、切れ目ない支援を進めるためのポイントについて意見交換を行います。また、ネットワークづくりの一步を踏み出し、自らの地域で実践するために、初期段階の取り組み方についても考察します。
15:50 ～ 16:00	閉会あいさつ 全国児童養護施設協議会 会長 桑原 教修

- ・地下鉄銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分
- ・地下鉄千代田線／丸ノ内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分

本フォーラムはインターネットからお申込みいただけます
お申込みサイト <http://www.mwt-mice.com/events/kosodate190911>



web サイトからお申込みいただいた場合、変更・取消も上記サイトからお手続き可能です。

令和元年度 子どもの育ちを支える、子ども・子育て全国フォーラム

参加・昼食申込書〔令和元年 9 月 11 日（水）開催〕

申込締切日 令和元年 8 月 26 日(月) 定員(250 名)に達し次第締切とさせていただきます場合があります

申込先 FAX **03-3595-1119**

電話 03-3595-1121

名鉄観光サービス株式会社 MICE センター 担当 波多野、柴田

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルLB階

送信日	月	日	新規申込	内容変更	参加取消
-----	---	---	------	------	------

都道府県・指定都市名	勤務先 (施設名等)				
連絡先住所等 (勤務先住所等) ※参加券等送付先	郵便番号		※郵便番号・住所は正確にご記入ください		
	住所				
	電話	FAX	申込担当者		様
所属先の区分	1.認可保育所 2.幼保連携型認定こども園 3.児童養護施設 4.乳児院 5.母子生活支援施設 6.都道府県・指定都市社会福祉協議会 7.市区町村社会福祉協議会 ※社協が運営する保育所等の場合、6 または 7 に○印を付けて下記 () 内に具体的内容を記入してください。 8.民生委員・児童委員 9.児童家庭支援センター 10.行政 11.その他()				
フリガナ			役職名		
参加者氏名					
昼食申込	申し込みます ・ 申し込みません			お弁当 1,200 円 お茶付、消費税込	
費用計算	参加費 7,000 円+昼食代() 円 = 費用合計() 円				
通信欄					

- ◆申込締切日以降、開催の1週間前に参加券および送金についてのご案内を郵送いたします。
- ◆変更・取消が生じた場合は本申込書を変更箇所がわかるよう訂正のうえ、再度ご送信ください。
- ◆参加費入金前の欠席連絡（参加キャンセル）については9月4日（水）までにご連絡ください。
- ◆入金後の欠席連絡（参加キャンセル）については、参加費の返金はいたしません。請求にもとづき資料の送付をもって代えさせていただきます。
- ◆昼食をお取消の場合9月4日（水）までにご連絡ください。9月5日（木）以降は昼食代全額をご請求いたします。
- ◆情報保障（手話通訳、要約筆記等）が必要な方は通信欄にご記入ください。

0911H【1147】